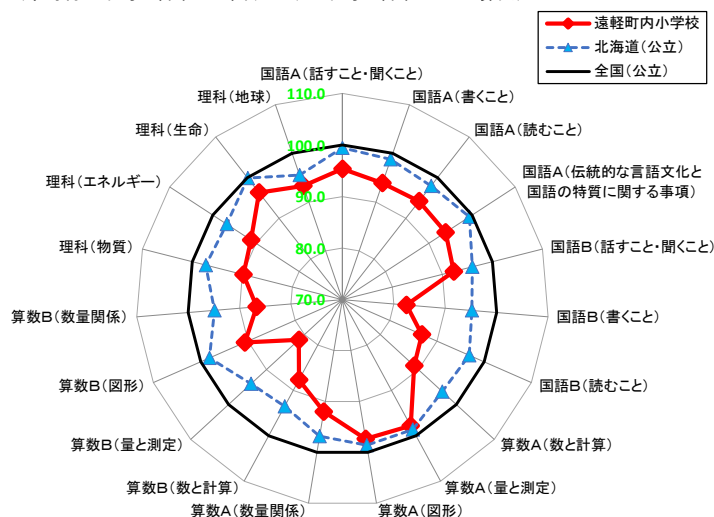


■遠軽町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:127人)

【教科全体の状況】

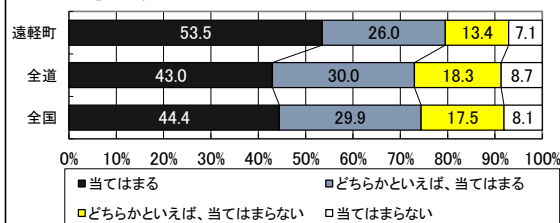
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



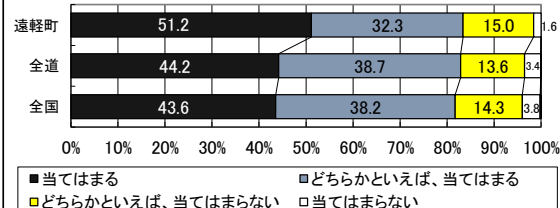
【児童質問紙調査】

算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか



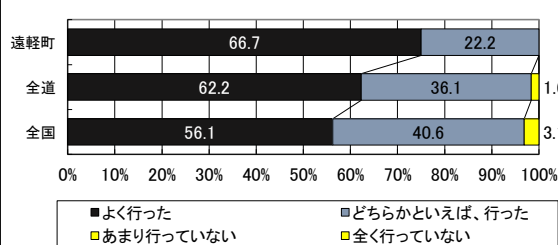
【児童質問紙調査】

理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか



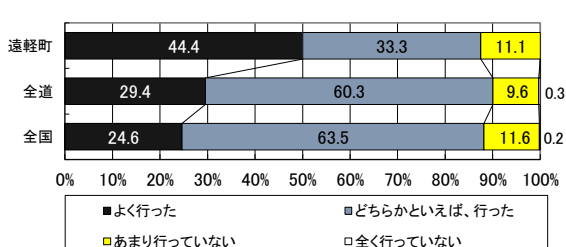
【学校質問紙調査】

算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



【学校質問紙調査】

理科の指導として、児童が科学的な体験や自然体験をする授業を行いましたか



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」「図形」において、全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」において、全国に最も近くなっている。	○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行うことにより、児童に基礎的な力が身に付くとともに、新しい問題に出合ったときに、それを解いてみたいという意欲が高まったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったか考えている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 理科の指導として、科学的な体験や自然体験をする授業を行ったことにより、「観察や実験の結果から、どのようなことが分かったか考える」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の指導として、児童が科学的な体験や自然体験をする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

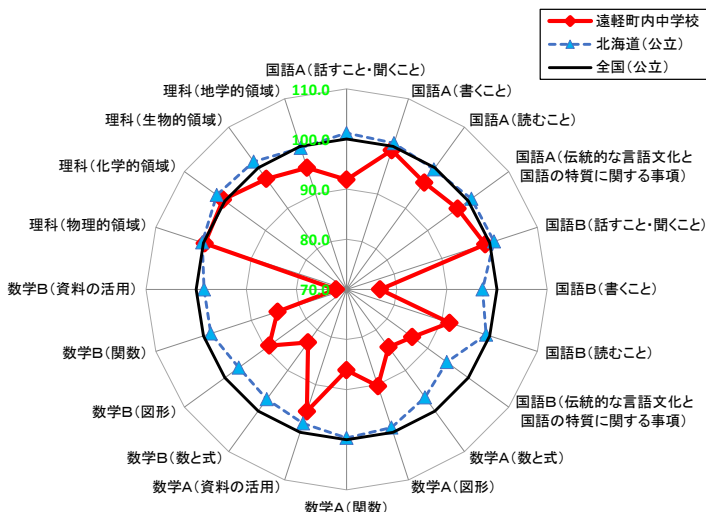
【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 未来に誇れる文化や自然遺産、人材などの教育資源の活用
- ◎ 確かな学力の育成・定着を図るための教育用ICT機器の整備
- ◎ 外国語活動における言語や文化に対する理解を深めるための英語指導助手の配置

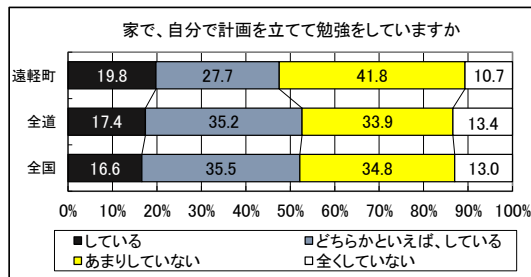
■遠軽町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、生徒数:177人)

【教科全体の状況】

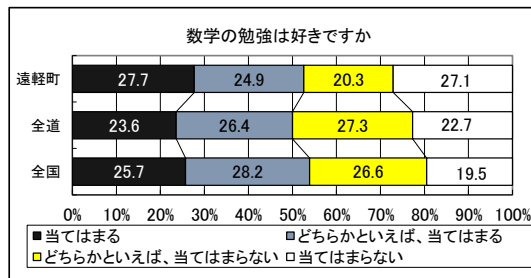
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



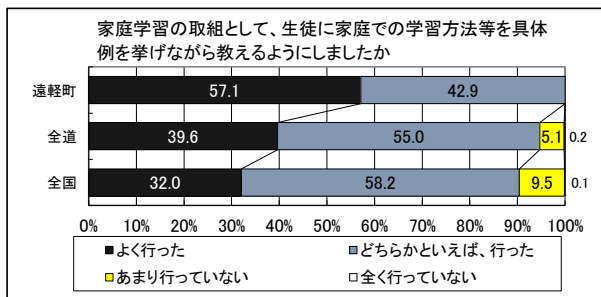
【生徒質問紙調査】



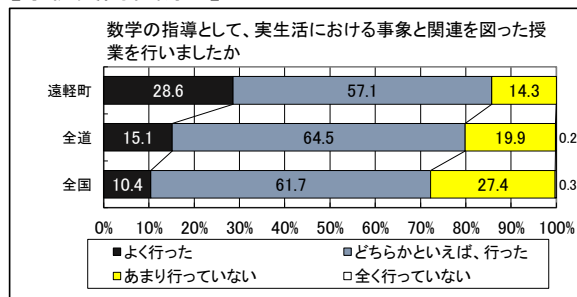
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「物理的領域」で全国に最も近くなっている。	○ 学校が、家庭学習の取組として、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えたことにより、生徒は、家で自分で計画を立てて勉強するなど家庭学習の習慣が確立されたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 各学校においては、数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、生徒は、数学を身近なものと感じ、「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「家庭学習の取組として、生徒の家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【遠軽町の学力向上策】

- ◎ コミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進
- ◎ 未来に誇れる文化や自然遺産、人材などの教育資源の活用
- ◎ 特別支援教育支援員を学校に配置